

公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和6年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

準決勝 【 45 】

主審
署名

金淵 佑亮

Table with match details including date (2024年11月4日), time (11:05), venue (三木総合防災公園第2陸上競技場), weather (晴れ), and player statistics for both teams (相生学院高校 and 滝川第二高校).

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

Table showing the goal sequence (得点経過) with columns for time, team, player, score, and goal type.

戦評者 所属【 兵庫/川西緑台 】 氏名【 筒井/山下 】
爽やかな秋晴れのもと、準決勝第1試合が行われた。相生学院1-4-2-3-1、滝川第二1-4-2-3-1のシステムでキックオフ。両者ともに主導権を握ろうと球際の勝負が激しくなる。相生学院が守備時のブロックを下げたことを契機に少しずつ滝川第二が中盤を経由して10三宅中心にボールを運び始め、試合が落ち着いた展開になっていった。相生学院もボランチやサイドバックが背後へ抜け出す動きなどを織り交ぜ、攻撃に変化をつけ始める。前半27分、滝川第二14八木の仕掛けから一旦下げたボールを10三宅が対角の7村松へクロスを送り、頭で折り返したボールのクリアが13治部に当たり、先制点が生まれる。失点したことで相生学院は積極的に縦パスを入れ始め、攻勢を強める。すると、サイドチェンジからのコンビネーションで抜け出した11中原がPA内でファールを受け、PKを獲得する。これを14高本がきめ、同点で前半を終える。後半早々の48分、相生学院のビルドアップを滝川第二10三宅が素早い出足でインターセプトし、そのままゴールに流し込み追加点を挙げる。滝川第二20南が中盤で相手の攻撃の芽をことごとく摘み、徐々に滝川第二が主導権を握る。65分には、滝川第二はCKからのこぼれ球を10三宅のシュートが弾かれるも、7村松が頭で押し込み追加点を挙げる。その後も、滝川第二が前線のプレス・攻守の切り替えの速さ・素早いプレスバックで相手を上回った。後半ATにはサイドのコンビネーションから滝川第二24空久保の豪快なシュートで試合を締め括った。相生学院は高い個人技で攻撃を仕掛け続けたが、滝川第二の高い集中力が上回る一戦であった。

[備考]